

平成 30 年 1 月～平成 30 年 3 月期

養父市景況調査結果報告

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成 30 年 1 月～平成 30 年 3 月期の景況調査を実施いたしました。ご協力していただいた会員様へ厚くお礼申し上げます。以下に調査の方法と結果を掲載いたします。

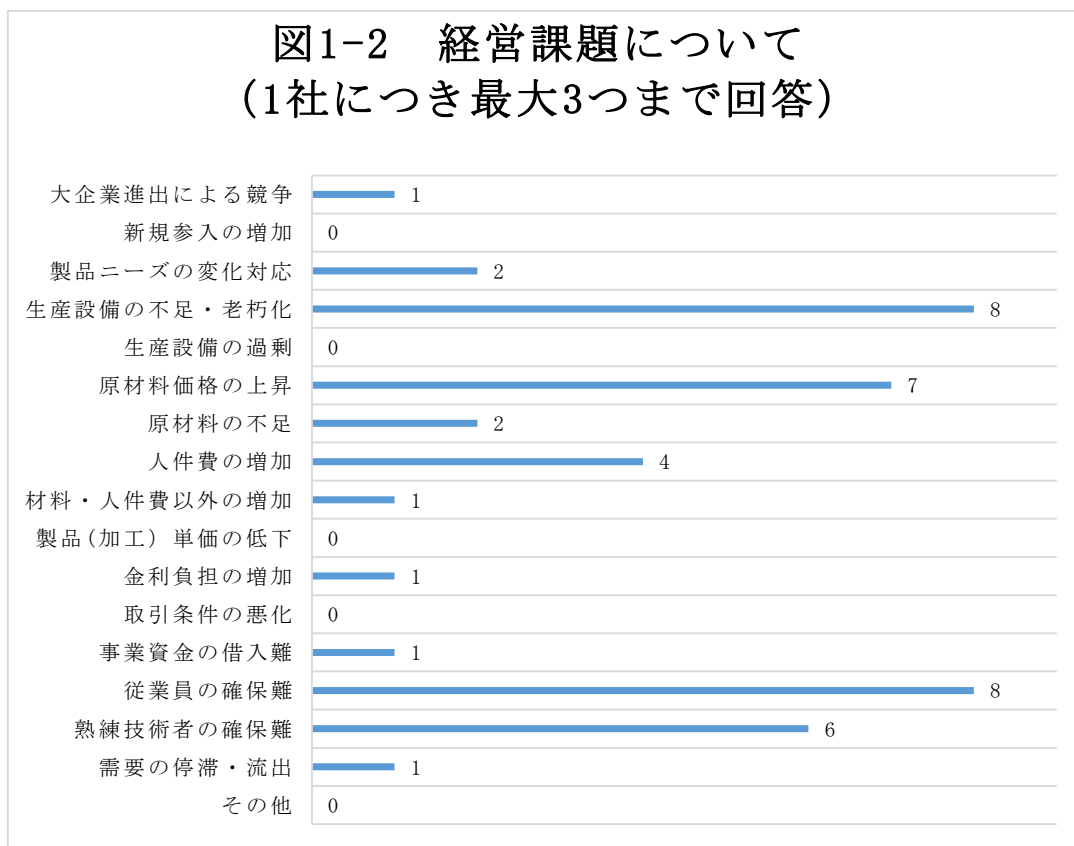
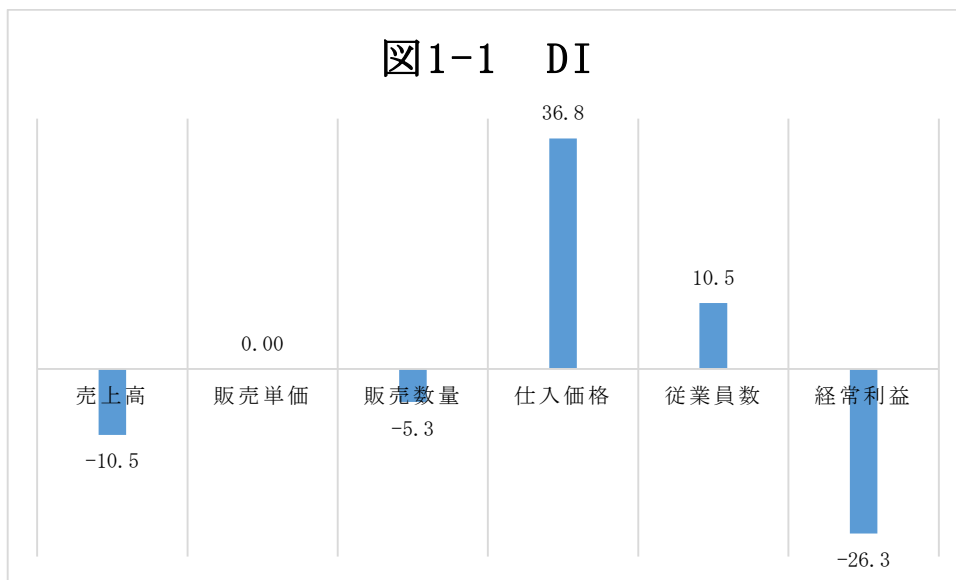
調査時期	平成 30 年 1 月～平成 30 年 3 月
調査企業	製造業 19 件 建設業 15 件 小売業 18 件 サービス業 19 件 宿泊業 4 件
調査方法	調査票への選択記入
作成日	平成 30 年 4 月
分析手法	同年四半期前期を 100%として、今期の景況を「1:良い」「2:不変」「3 悪い」で回答を得ている。景気の拡大を示す経済指標であるデフュージョン・インデックス (DI) は、1 を選んだ企業の構成比 (%) から 3 を選んだ企業の構成比 (%) を引いて算出している。DI がプラスのときは景気拡大期 (好景気)、マイナスのときは景気減速期 (不景気) と判断する。また資金調達の有無、設備投資の有無、経営課題についても質問し、それらを単純集計してより多面的に景況を判断する。

図の掲載ページ

製造業	P2
建設業	P3
小売業	P4
サービス業	P5
宿泊業	P6

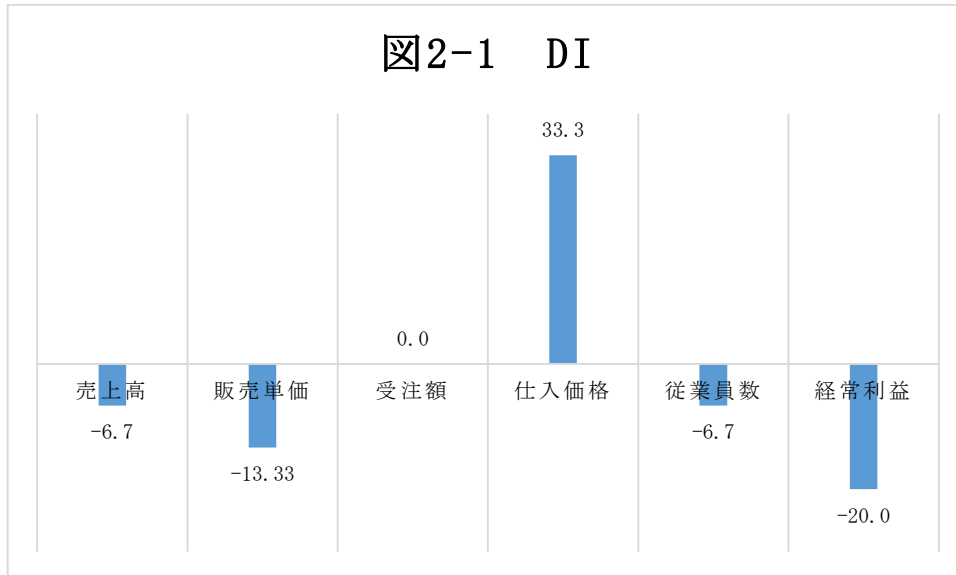
<製造業>サンプル回答数：19件

原材料の高騰により収益悪化。人材不足と生産設備の老朽化が問題。

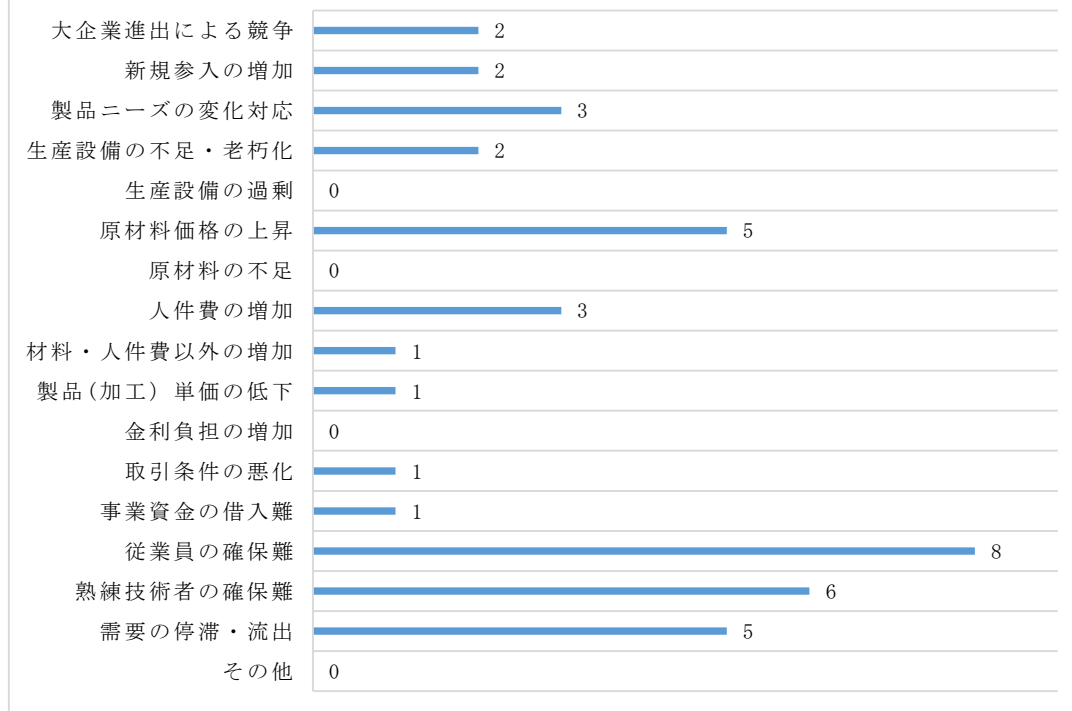


<建設業>サンプル回答数：15件

仕入価格高騰と人手不足による受注確保難により収益悪化。

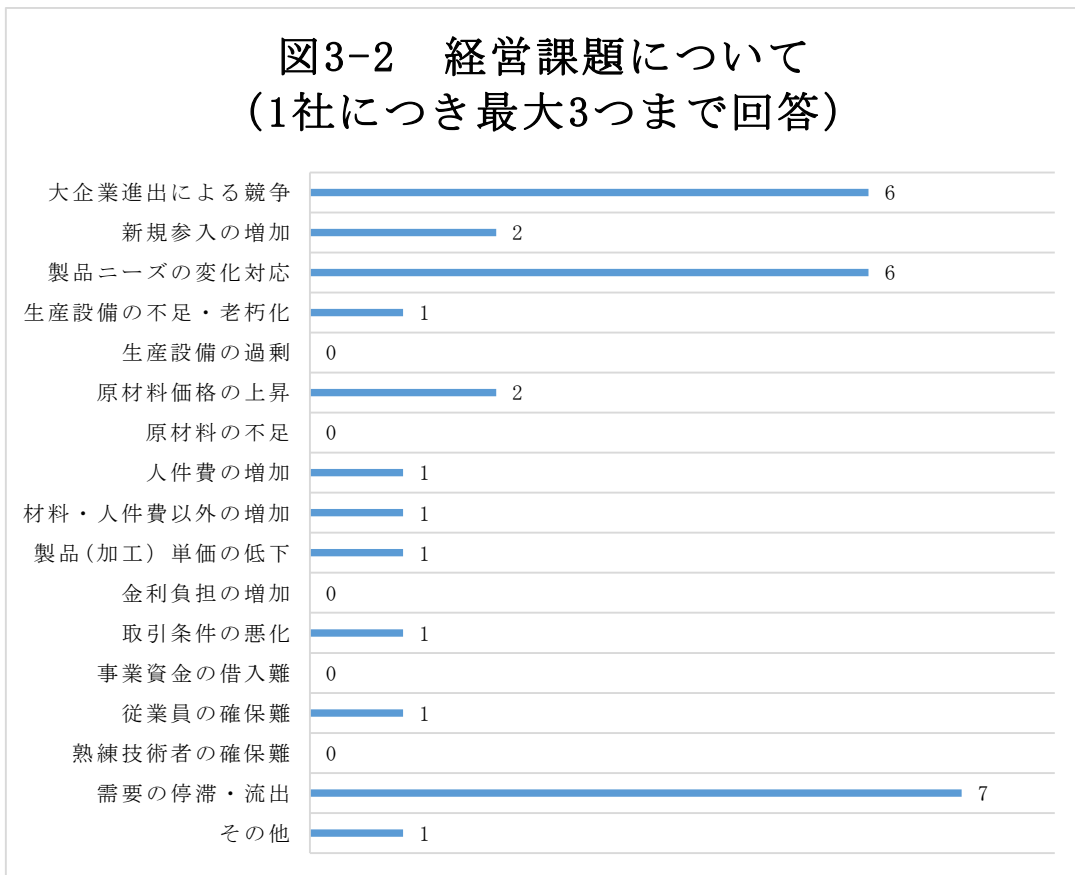
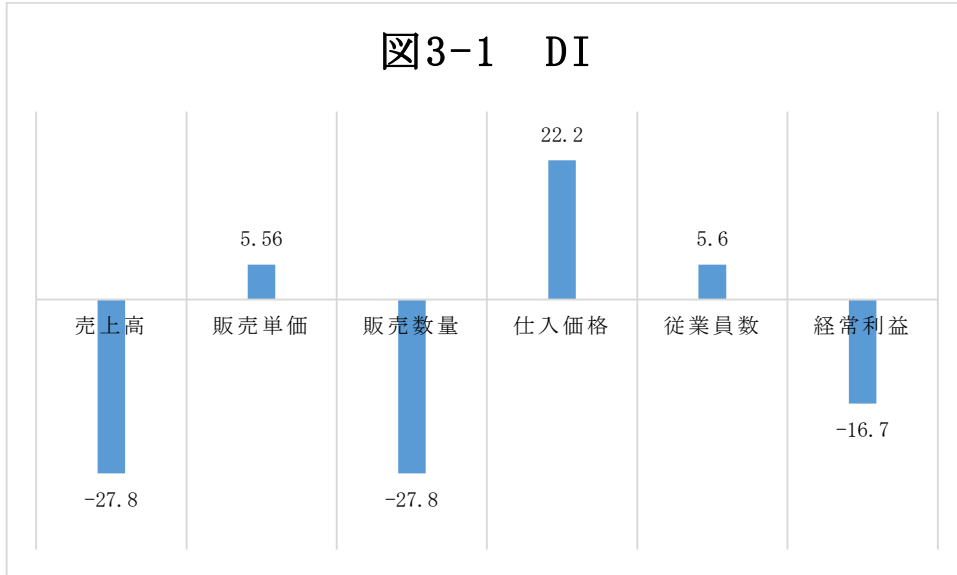


**図2-2 経営課題について
(1社につき最大3つまで回答)**



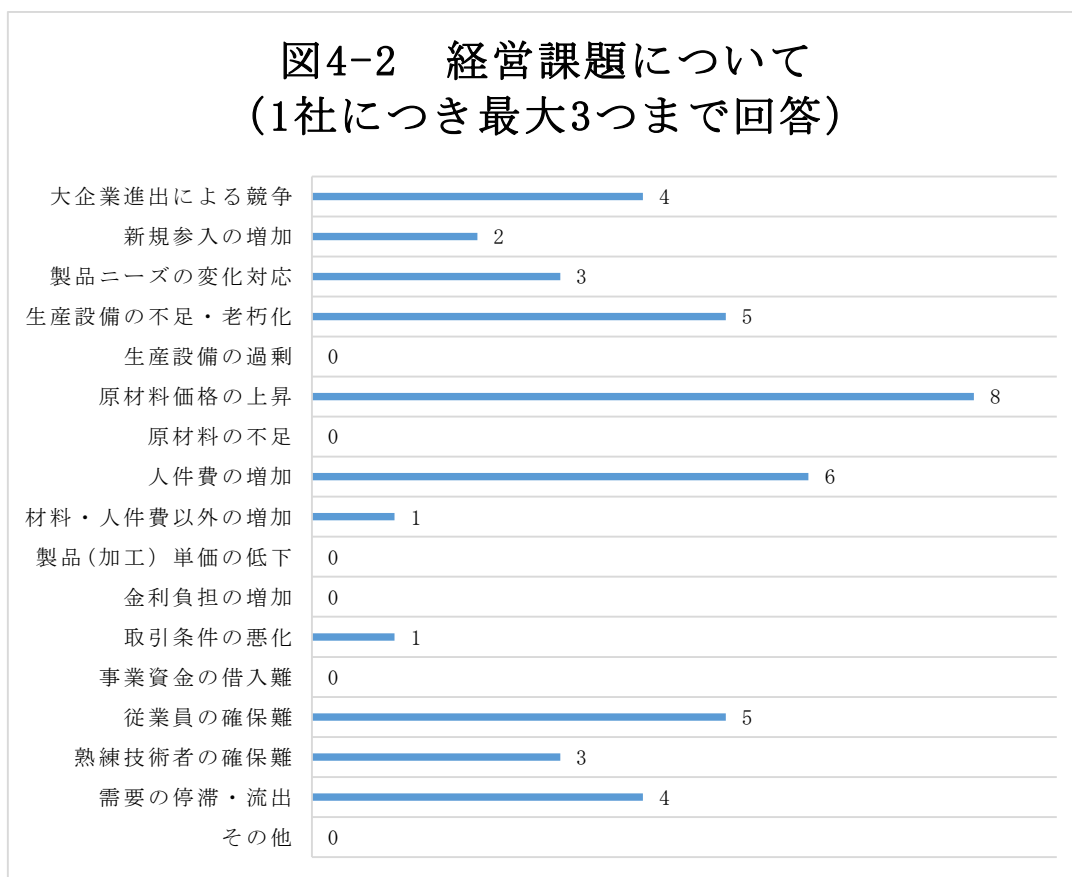
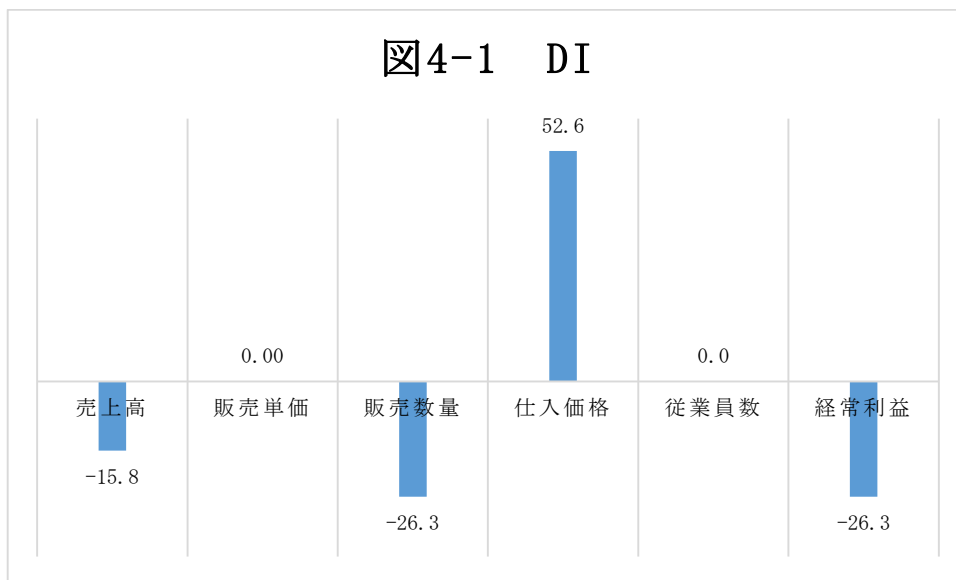
<小売業>サンプル回答数：18件

販売単価が増加しても顧客流出を防げるかが大手進出対応の要件。



＜サービス業＞サンプル回答数：19件

人手不足の深刻化によりサービス力の低下が懸念。労働環境整備が急務。



<宿泊業>サンプル回答数：4件

スキーシーズンにより前期よりも業況は改善。人手不足感はぬぐえない。

